

第2回北斗市総合計画策定審議会 議事概要

日時

平成29年1月27日（金） 9時30分～12時00分

場所

北斗市総合文化センター かなで～る 大会議室

出席者

○委員31名（36名中）

委員氏名	出欠
宮崎 高志	出席
佐々木 博史	出席
田島 義史	出席
春山 豊満	出席
田島 義勝	出席
濱谷 重美	欠席
富樫 富市	出席
向中野 貴夫	出席
松田 貴裕	出席
伏見 勉	出席
田畑 定男	出席
菊池 憲三	欠席

委員氏名	出欠
清藤 勲	出席
長谷 百合子	欠席
渋谷 好孝	欠席
久我 親雅	出席
三上 裕子	出席
柳谷 睦	欠席
岡田 勝利	出席
齊藤 ひろ子	出席
小泉 志津子	出席
安井 重哉	出席
菊池 幸恵	出席
根本 直樹	出席

委員氏名	出欠
山下 勇吉	出席
新出 孝男	出席
大山 正志	出席
菅原 聡	出席
若栗 昭逸	出席
吉田 照蔵	出席
柳本 邦彦	出席
高森 琢磨	出席
木村 圭介	出席
日笠 朝子	出席
岩井 勇雄	出席
伊藤 輝	出席

○市関係者 10名

市長、副市長、総務部長、市民部長、民生部長、経済部長、建設部長、
総合分庁舎長、教育次長、財政課長

○事務局 4名

企画課長、企画課職員3名

次第

- 1 開会（進行：事務局）
- 2 会長挨拶
- 3 議題

報告第1号 市民意識調査まちづくりアンケート報告書について （資料1）

資料1について事務局より説明

【質疑・意見】

(委員) 議案配布をもう少し早くして欲しい。

(委員) 前回説明があったかもしれないが、高校生へアンケートを行わなかった理由は。

(事務局) 前回と調査と比較するため、同じ調査対象としたため、高校生は含めなかった。

(委員) 新幹線に関連したこと。

3月26日に1周年のイベントやると思うが、毎年やるのか隔年でやるのか？議論しなければならない。

議会だよりの編集後記に、記念事業が目白押しとなることでしょうか、ここで一度立ち止まってみましようとして書いてあったが、立ち止まったら前には進まないのでは。

イベントがうるさいのか、新幹線本体がうるさいのか
なぜこのような編集後記を書かれたのか聞きたい。

次回、事務局で答弁できるなら聞きたい。

(事務局) 前段のイベント関係では、今年3月26日に開業1周年を迎え、2年目に入っていくということで、北海道と連携しながら1周年イベントを実施していく。

イベント開催の趣旨は、皆さんご承知とは思いますが、多くの皆さんが新幹線を利用して北斗市を訪れますので、駅と駅周辺方を拠点として賑わいを作って、それを広げていく趣旨です。

イベントは開催時期よりも、賑わいを作る環境づくりを市として行っていかなければならないと考えている。

(委員) イベントは別としても、新幹線の騒音に関しては、稲里、開発地区でうるさいと言われている。

特に稲里地区のエアージェット騒音がひどいと聞いているが、一時的なものなので、我慢できないものではないと聞いている。

(会長) 町会連合会でも、稲里の地区のエアージェットに関しては、市長へ要望としてあげている。

イベントに関しては、民間とリンクして開催するものと思われるので、意見として受け取りたい。

(事務局) 市としても運輸機構と今後の対応も現地確認をしながら進めていく。沿線地域の皆さんの暮らしに関する事なので、生活環境の改善ということで、できる範囲で行っていききたい。

(委員) 中学生に対しての調査報告について、一般の方や前回調査と比べると顕著に良い方向に差が出ているが、その差に対する原因や理由などの考察は何か。

(事務局) 北斗市は教育にも力を入れており、学力の向上や部活、文化活動、スポーツ活動に非常に努力をされており成果を出していただいている。
中学生自身、生活を有意義に過ごしているという印象を受けている。

(委員) 学校関係としてアンケートの考察は、北斗市の目標として郷土北斗愛を育てる。
市の施策として、小学校4年生へ社会科副読本を無償配布やジュニアほくと学検定での勉強、医療費無料、遠征費補助等で、子どもたちも魅力を感じているのではと感じた。

(委員) このアンケートは、北斗市の施策に活かせるというものだけど、外から見ても良いアンケートだと思う。
北斗市の施策だけではなく、公になった時に多くの方が資料として使用することになるアンケートだと思う。
簡単な地図があれば位置関係が分かりやすくなるので、活用する場合には必要となる。
居住動機が地区別で表されていないので、入れた方が有益ではないのか。

(事務局) 参考となるご指摘と受け止めさせていただいた。
審議会の中でも参考となるので、次回審議会で地図を示した資料を提出していきたい。
総合計画審議会の関係資料に関しても、HP等で有意義な資料を出していきたい。

(委員) 石別地区・茂辺地地区の住民が一番困っているのが交通なので、利便性を向

上した方が良いのでは。

たまゆらの会みたいなの、気軽に集まるような取り組みをした方が良いのでは。

(会 長) 茂辺地地区・石別地区は市でも力を入れているので後押ししていけると思う。

(委 員) アンケート結果で新幹線開業前と変わらないという方が60%以上いる。
騒いでいるのは市とマスコミだけで、イベント等はマスコミで知る。
もっと市民にアピールする小冊子等を作ることを検討していただきたい。

(事務局) 市民が参加して楽しめる進め方を、ご指摘を踏まえて今後の参考にさせていただく。

(委 員) アンケート結果の低いところを、良くできるように今後進めていけば良い。

議案第1号 第2次北斗市総合計画 総論（骨子）について （資料2～3）

資料2～3について事務局より説明

【質疑・意見】

(委 員) 1頁の、地域間競争の文言があるが、北斗市での事情があるのか、地域間とは何処を指しているのか。

(事務局) 人口減少問題などの行政課題を解決するため、何処の地域というものではなく、他自治体との差別化を図っていくため、北斗市の特色を出すということ。

(委 員) 17頁の「新幹線を活かした元気で魅力あるまちづくり」に関して、駅前に商業施設があった方が良いと思うが、医療関係施設の誘致もした方が良いのでは。

(事務局) 17～18頁は、総論の中で北斗市を取り巻く現状認識ということで、ご理解いただきたい。
具体的な企業誘致等については、次回以降の部会で審議する「基本計画」に記載していくので、ご意見として受け止めさせていただきます。

(委 員) 15頁の「③生活環境の現状について」、各部会で議論したいと思っているが、道路の除排雪で、上磯駅前通りに流雪溝が設置されているが、その利用状況

と効果をお聞きしたい。

効果があれば他地域にも設置を広げていってはどうか。

(事務局) アンケート結果として指摘を受けている特徴的な部分を掲載しているので、次回以降の部会で審議する「基本計画」への、ご意見として受け止めさせていただきます

(委員) 未来へ向けての計画なので、人口推計や財政推計などの具体的な数字を示した方が良い。

課題の中に行政ではなく住民が何ができるのかを具体的に示した方が良い。

(事務局) 人口推計の関係は基本構想で触れさせていただく。

北斗市総合戦略人口ビジョンをベースに、今後どのような設定をするか、今後の審議会で議論いただきたい。

ご指摘を踏まえて、今後の計画に具体的に反映できるか検討させていただきます。

(委員) 13頁の人口推計について、グラフなどを用いて視覚的に必要がある。

50年後の推計データが出ているが、先すぎるので、10年後の推計を示した方が良い。

人口推計も含めて、7～8頁も世帯数、年齢別推移だけではなく、地区別の推計があれば、より地域で取り組んでいく順位が見えてくるのでは。

(事務局) 分かりやすい計画を目指しているので、今後、素案、成案に格上げしていく段階で工夫していきたい。

人口減少の局面での2次計画となるので、人口ビジョンを踏まえながら10年後の人口推計を示したい。

地区別の世帯数、人口を出すのは、人口減少を危機意識に置き換える作用はあるが、地区別を示すことは住民意識を考えると難しい。

総合計画の下の各分野での計画で触れていくケースはあるが総合計画では難しい。

(委員) 案との記載がないが、今後修正したものへの議論はできないのか。

(事務局) 今回審議しているものは骨子で、今後、素案、成案と進んでいく段階で、議

論はさせていただきます。

(委員) 計画期間が10年では短いのでは。

30、50、100年の計画を立てなければ、10年の計画はできない。

新幹線は移動手段なので、人口減少が起きるかもしれない。

インフラの整備だけではなく、具体的にプランズチェックができるような計画にしなければいけない。

(事務局) 行政は継続性と、その時代の課題に対応しなければならないので、10年が限界と考えている。

事後チェックができるよう、数値目標等を示していきたい。

議案第2号 第2次北斗市総合計画 基本構想(骨子)について (資料4～5)

資料4～5について事務局より説明

【質疑・意見】

(委員) シンボルテーマのイメージ案の文字組はこのままなのか。

(事務局) 右側はシンボルテーマを考えるためのキーワードとなるので、左側のみの記載となります。

(委員) 企業誘致と雇用の拡大の今までの進め方は。

農地規制等により、企業誘致が困難になっているようだが、今後の企業誘致の具体的な手法を示す必要があるのでは。

(経済部長) 企業誘致で商業系の誘致については、駅前をメインに行ってきた。

工業系の企業誘致については、誘致できる土地が限られたものとなっており、あまり進んできていない。

農業地域の土地利用については、総合計画のなかで具体的に示していく必要がある。

(委員) 観光の振興で、近隣自治体との具体的な連携を聞かせていただき、今後の部会での議論に役立てたい。

(経済部長) 新幹線開業を機会に、新幹線沿線協議会(北斗市、函館市、七飯町、森町、

鹿部町)で、連携して取り組む事業を行ってきた。

他にも、みなみ北海道観光推進協議会でも、それぞれが連携しながら観光プロモーションを東北や北関東で実施してきた。

観光課が平成24年に設置され、新幹線開業へ向けて実施してきたことは、市内の観光スポットの作り上げを行ってきたが、まだ観光振興が始まったばかりなので、今後更なる観光スポットの磨き上げなどを行っていく。

(委員) 5頁 生涯学習の推進で、記載していることは間違いではないが、これから先の10年の計画であれば遅れている。

今の生涯学習の推進の眼目は、個人の教養を社会化するということが大きなテーマである。

アンケートでの地域交流の現状で、地域行事の不参加が目立っているので、そのような人たちが、生きがいを持って社会に接点を持つ動機づけをするのが、今の考え方ではないのか。

(教育次長) 大きな部分のみ上げているので、この他に個別の事項を出していくと考えている。今後、ご指摘の部分も含めて盛り込んでいきたい。

(委員) 今回示されている内容は、うわべだけのような気がする。
これを深く掘り下げるのは各部会で議論するのか。

(事務局) 今後開催する各部会で審議していく基本計画で深堀をしていく。

(委員) 北斗市の自然、スポーツ施設は他にはない良いものがあるので活用しては。
公認を受けているスポーツ施設は何か。

(経済部長) 陸上競技上は4種公認を受けており、トップクラスの選手が合宿に訪れている。

現在、サッカー、ラグビーのグラウンドの整備を計画しているので、今後の大会誘致等に繋がり、交流人口の増加に繋がる。

(会長) いただいた意見を基本構想(素案)に、反映させていただきたい。

4. その他

5 閉会